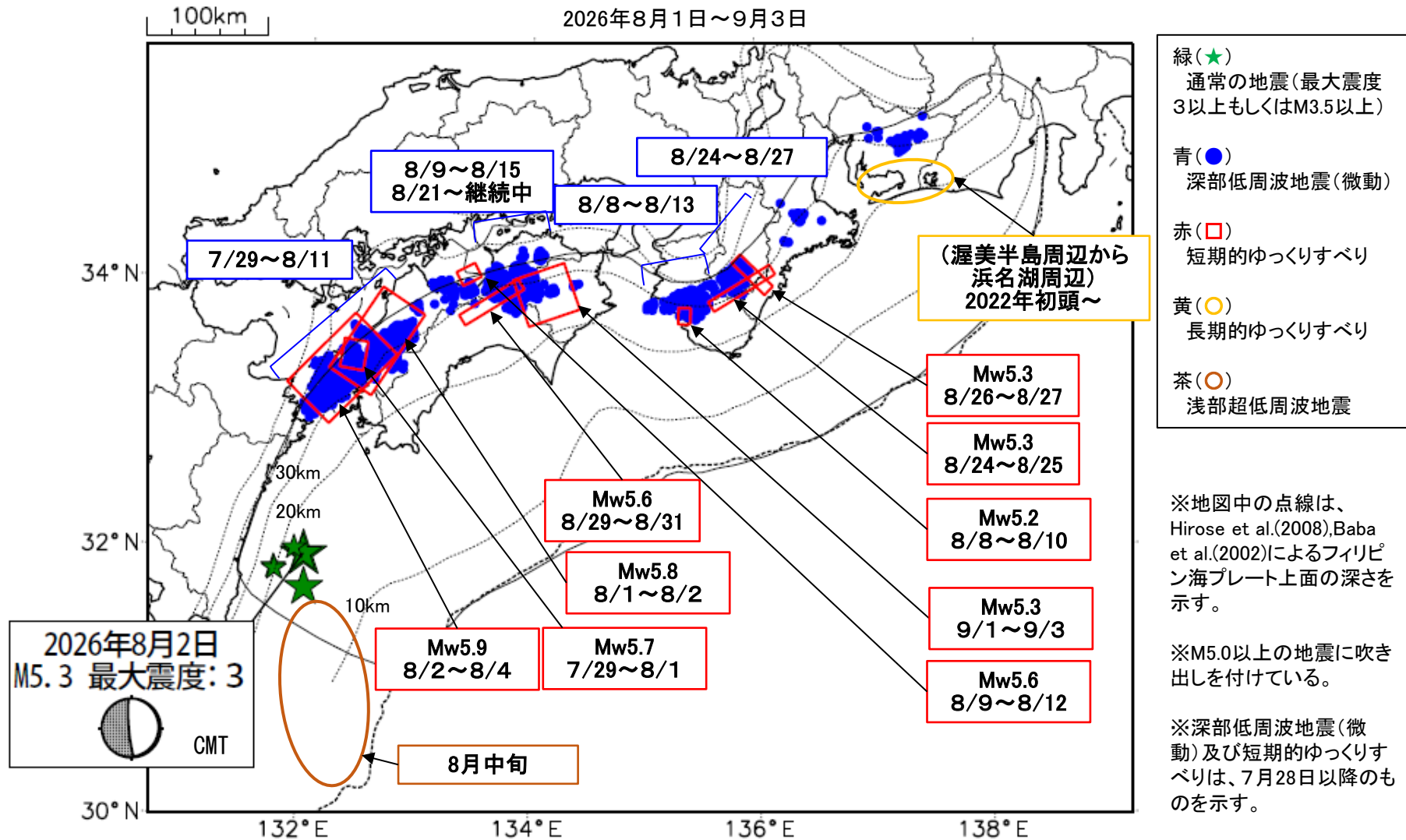


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2026年8月1日～9月3日



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。

深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。

短期的ゆっくりすべり.....【四国西部、四国東部(3-1)、四国東部(4-1)、紀伊半島西部、紀伊半島中部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。

.....【四国東部(4-2)】気象庁の解析結果を示す。

長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

浅部超低周波地震.....防災科学技術研究所の解析結果を元に活動期間及びおおよその場所を表示している。

令和8年8月1日～令和8年9月3日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
8/2	04:10	日向灘	21	5.3	3	フィリピン海プレート内部
8/16	13:37	日向灘	22	4.0	1	フィリピン海プレート内部
8/17	12:06	日向灘	12	4.2	2	
8/17	22:33	日向灘	17	3.8	1	
9/2	08:24	日向灘	42	3.9	1	フィリピン海プレート内部
9/2	08:24	日向灘	39	3.8		フィリピン海プレート内部

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※発生場所は、フィリピン海プレートの中で発生した地震のうち、沈み込むプレートの内部で発生したものは「フィリピン海プレート内部」、それ以外は「フィリピン海プレート内」と表記している。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 8月2日 8月6日 <u>8月9日～15日</u> ・・・(3) 8月17日～18日 <u>8月21日～(継続中)</u> ^{注1)} ・・・(4) ■四国中部 7月29日～8月3日 8月8日～10日 8月12日 8月20日～22日 8月25日～26日 8月29日～9月2日 ■四国西部 <u>7月29日～8月11日</u> ^{注2)} ・・・(1) 8月14日～20日 8月22日～27日 8月30日～31日 9月2日	■紀伊半島北部 8月15日 8月23日 ■紀伊半島中部 8月5日 8月8日～9日 <u>8月24日～27日</u> ^{注3)} ・・・(5) 8月30日 ■紀伊半島西部 <u>8月8日～13日</u> ^{注4)} ・・・(2) 8月18日 8月25日～26日 8月28日	8月3日 8月5日 8月20日 8月27日 9月3日

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）、（2）、（3）、（4）、（5）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注1） 防災科学技術研究所による解析では、8月27日頃から微動活動が見られている。

注2） 防災科学技術研究所による解析では、7月30日から8月7日頃にかけて微動活動が見られた。

注3） 防災科学技術研究所による解析では、8月24日から27日頃にかけて微動活動が見られた。

注4） 防災科学技術研究所による解析では、8月8日から12日頃にかけて微動活動が見られた。

気象庁作成

○浅部超低周波地震の活動期間

■日向灘及びその周辺域

8月中旬

※浅部超低周波地震は防災科学技術研究所による解析結果について記載している。